



大泉西中学校だより

令和6年度 学校評価アンケート集計結果

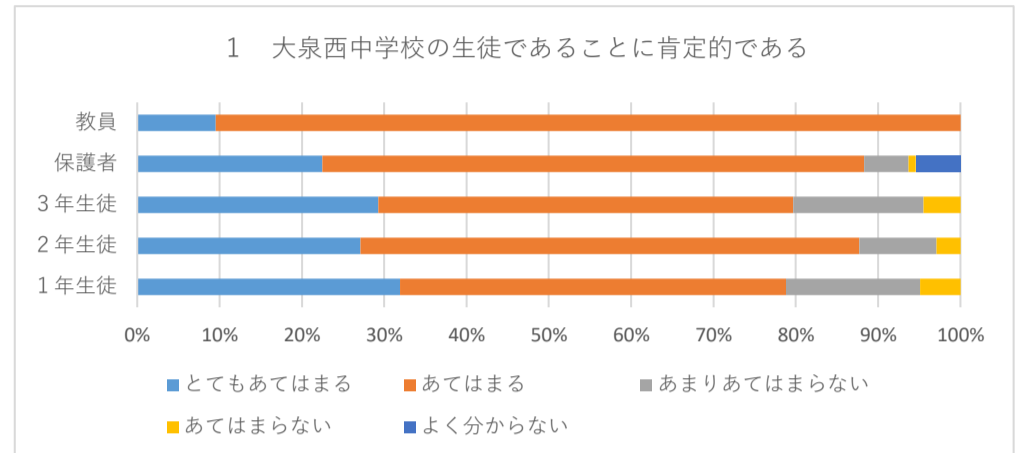
令和6年度学校評価アンケートの集計結果をお知らせいたします。同一のアンケート項目に対して、生徒（学年別）、保護者（学年別）、教員ごとに集計を行い比較できるようになっています。また、アンケート項目ごとに考察及び学校が大切にしていること、いただいたご意見に関する内容について学校の取組や考え、最後に学校関係者評価委員の皆さんから学校運営全般についての提言を掲載しています。

質問番号 1 番

1 大泉西中学校の生徒であることに肯定的である

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない	回答数
1年生徒	31.9%	46.8%	16.3%	4.9%	0.0%	141
2年生徒	27.1%	60.6%	9.4%	2.9%	0.0%	170
3年生徒	29.3%	50.4%	15.8%	4.5%	0.0%	133
保護者	22.5%	65.8%	5.4%	0.9%	5.4%	111
教員	9.5%	90.4%	0.0%	0.0%	0.0%	21

※全項目共通

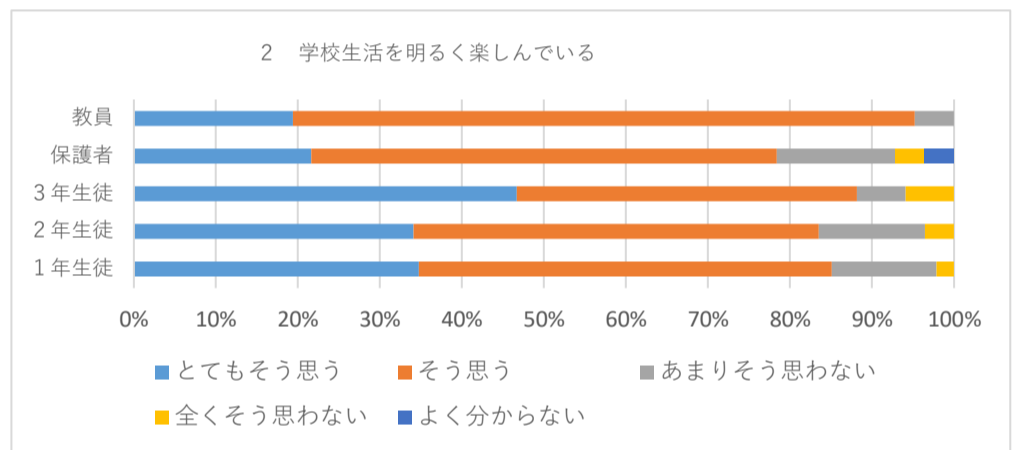


本校の教育目標は、日本国憲法および教育基本法の精神に基づき、学習指導要領が示す「生きる力」を育むことを目指し、「豊かな心を持ち思いやりのある人」「自ら学び正しく判断する人」「健康でたくましく生きる人」「共に社会をつくる人」と定めています。この目標を実現するために令和6年度は、「人権および豊かな心を育成する教育」「確かな学力の向上」「安全、安心を第一とした学校運営および基本的生活習慣の定着による健康の保持増進と体力向上」「学校づくりと教育課題に向けた取り組みの推進」「不登校の未然防止や個別対応の充実」を基本方針として取り組みました。

質問番号 2 番

2 学校生活を明るく楽しんでいる。

	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	よく分からない
1年生徒	34.8%	50.4%	12.8%	2.1%	0.0%
2年生徒	34.1%	49.4%	12.9%	3.5%	0.0%
3年生徒	47.4%	42.1%	6.0%	6.0%	0.0%
保護者	21.6%	56.8%	14.4%	3.6%	3.6%
教員	19.5%	76.2%	4.8%	0.0%	0.0%

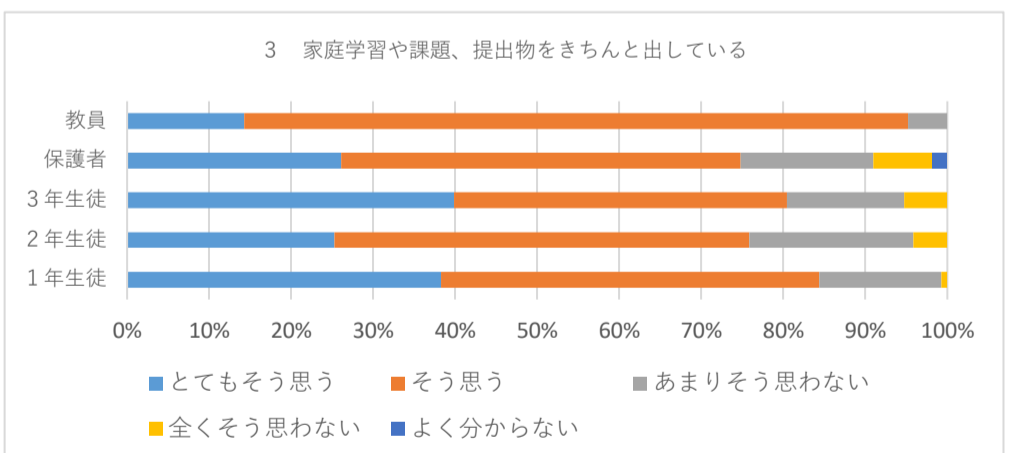


令和元年度からのコロナ禍の影響により、集団の中で培う人間関係を経験できない時期があり、みんなで楽しくという経験が不足しているように感じます。そのため、運動会や合唱コンクール、学級会など生徒自身が考えて取り組む機会を大切に組み込んできました。中には、その協働の体験を負担と感じる生徒もいます。人により様々な感じ方があることや目的を達成するための方法は一つでないことなどを共通理解し、誰もが楽しさを見つげられる学校生活の実現に向け今後も取り組んでまいります。

質問番号 3 番

3 家庭学習や課題、提出物をきちんと出している。

	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	よく分からない
1年生徒	38.3%	46.1%	14.9%	0.7%	0.0%
2年生徒	25.3%	50.6%	20.0%	4.1%	0.0%
3年生徒	39.8%	40.6%	14.3%	5.3%	0.0%
保護者	26.1%	48.7%	16.2%	7.2%	1.8%
教員	14.3%	81.0%	4.8%	0.0%	0.0%

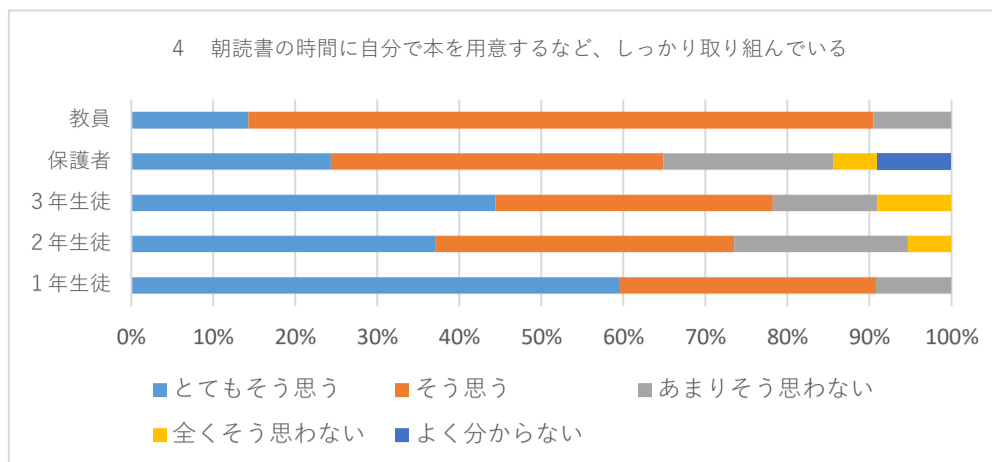


学習習慣やそれに伴う課題への取組、提出物の作成などには、見通しをもって取り組むことが大切です。そのために本校では、全学年でスケジュール帳(フォーサイト)を活用し、自己管理する習慣の獲得を目指しています。「～しなければならぬからする」という意識でやるのではなく、「～のためには、～することが必要、そのことを差し違えるには～すればよい」など主体的にタスクに取り組むことができるように、機会をとらえ生徒に働きかけてまいります。

質問番号 4 番

4 朝読書の時間に自分で本を用意するなど、しっかり取り組んでいる。

	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	よく分からない
1年生徒	59.6%	31.2%	9.2%	0.0%	0.0%
2年生徒	37.1%	36.5%	21.2%	5.3%	0.0%
3年生徒	44.4%	33.8%	12.8%	9.0%	0.0%
保護者	24.3%	40.5%	20.7%	5.4%	9.0%
教員	14.3%	76.2%	9.5%	0.0%	0.0%

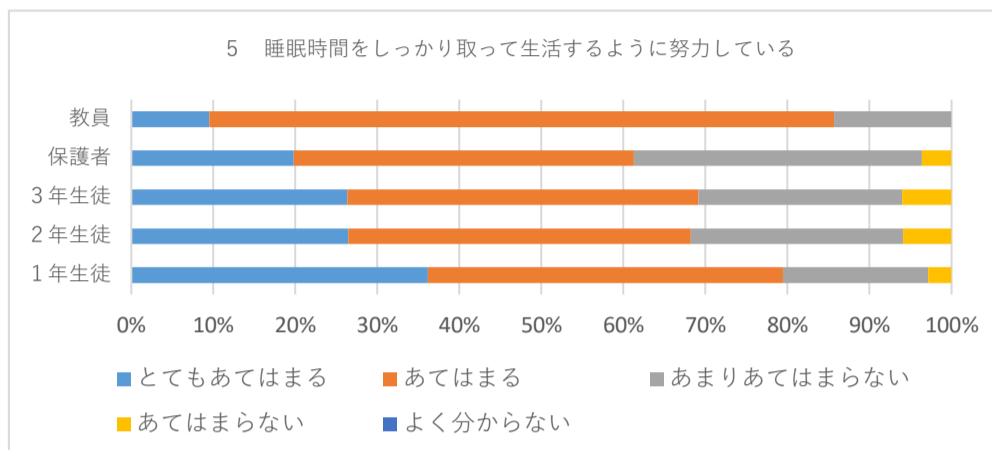


本校では、毎朝8時25分～8時35分の10分間を「朝読書」の時間としています。パソコン、ゲーム、スマホなどデジタル機器の影響により、活字離れが進んでいます。そのため、それぞれの生徒が読みやすい、興味のある本を使い取り組んでいます。また、わずか10分ですが静かに読書に取り組むことにより、穏やかな気持ちで授業に臨むこともねらいます。

質問番号 5 番

5 睡眠時間をしっかり取って生活するように努力している。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	36.2%	43.3%	17.7%	2.8%	0.0%
2年生徒	26.5%	41.8%	25.9%	5.9%	0.0%
3年生徒	26.3%	42.9%	24.8%	6.0%	0.0%
保護者	19.8%	41.4%	35.1%	3.6%	0.0%
教員	9.5%	76.2%	14.3%	0.0%	0.0%

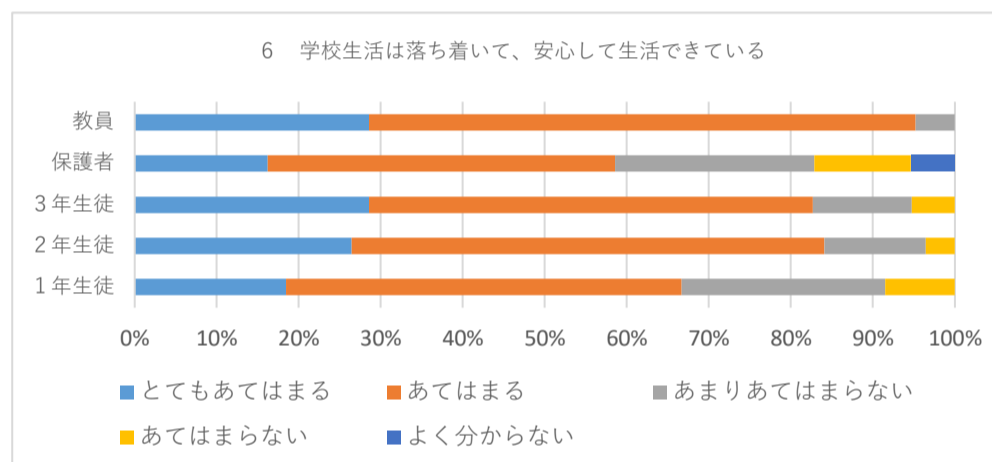


規則正しい生活習慣や十分な睡眠時間を取ることは、心身ともに発育発達中の中学生にはとても大切なことです。特に睡眠では、時間的なことや質に関する事など、健康や学習に影響を及ぼすことが実証されています。「栄養・運動・休養」、「早寝・早起き・朝ごはん」などバランスを意識して生活することは、中学校生活をより充実させることにもつながっています。

質問番号 6 番

6 学校生活は落ち着いて、安心して生活できている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	18.4%	48.2%	24.8%	8.5%	0.0%
2年生徒	26.5%	57.6%	12.4%	3.5%	0.0%
3年生徒	28.6%	54.1%	12.0%	5.3%	0.0%
保護者	16.2%	42.3%	24.3%	11.7%	5.4%
教員	28.6%	66.7%	4.8%	0.0%	0.0%

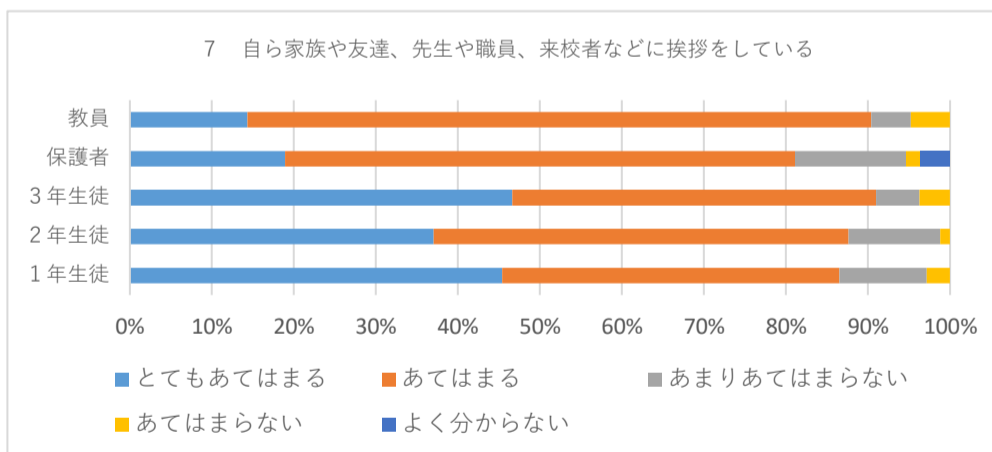


誰もが安全に安心して学校生活を送ることができるように、教職員で課題への認識を共有し対応しています。内容により効果の遅速はありますが、生徒、保護者の皆様と、望む学校像の実現を目指し継続して取り組んでまいります。事前に連絡をいただければ、保護者の皆様には学校公開時だけでなく学校生活をご覧いただけます。

質問番号 7 番

7 自ら家族や友達、先生や職員、来校者などに挨拶をしている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	45.4%	41.1%	10.6%	2.8%	0.0%
2年生徒	37.1%	50.6%	11.2%	1.2%	0.0%
3年生徒	46.6%	44.4%	5.3%	3.8%	0.0%
保護者	18.9%	62.2%	13.5%	1.8%	3.6%
教員	14.3%	75.7%	4.8%	4.8%	0.0%

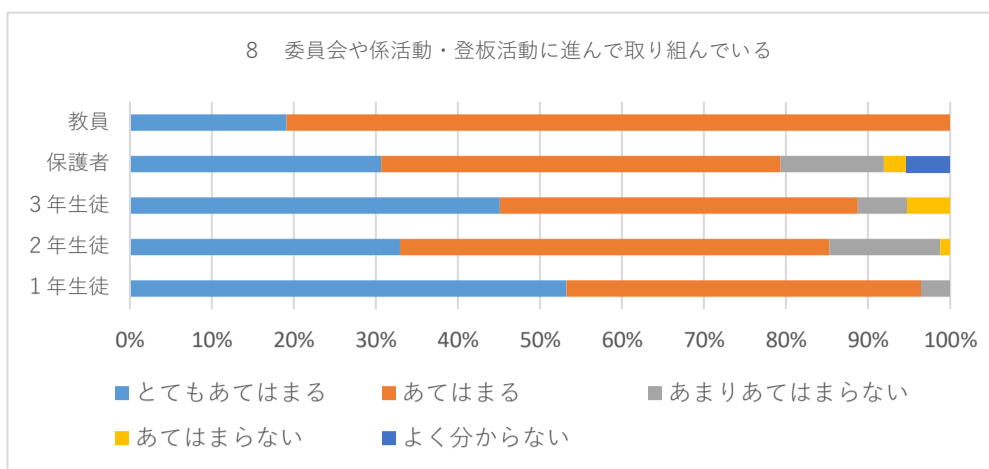


コロナ禍の悪影響である人間関係の希薄さ(個人主義)を解消し、集団で生活することで身に付けられること、良好な人間関係を築くために必要なスキルであること、また、コロナ前には「あいさつの大西中」と評価されていたことなどから、挨拶の励行を今年度目標の一つとして、機会をとらえ生徒に伝えてきました。今後も継続して教職員が率先して取り組んでまいります。

質問番号 8 番

8 委員会や係活動・当番活動に進んで取り組んでいる。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	53.2%	43.3%	3.5%	0.0%	0.0%
2年生徒	32.9%	52.4%	13.5%	1.2%	0.0%
3年生徒	45.1%	43.6%	6.0%	5.3%	0.0%
保護者	30.6%	48.7%	12.6%	2.7%	5.4%
教員	19.1%	81.0%	0.0%	0.0%	0.0%

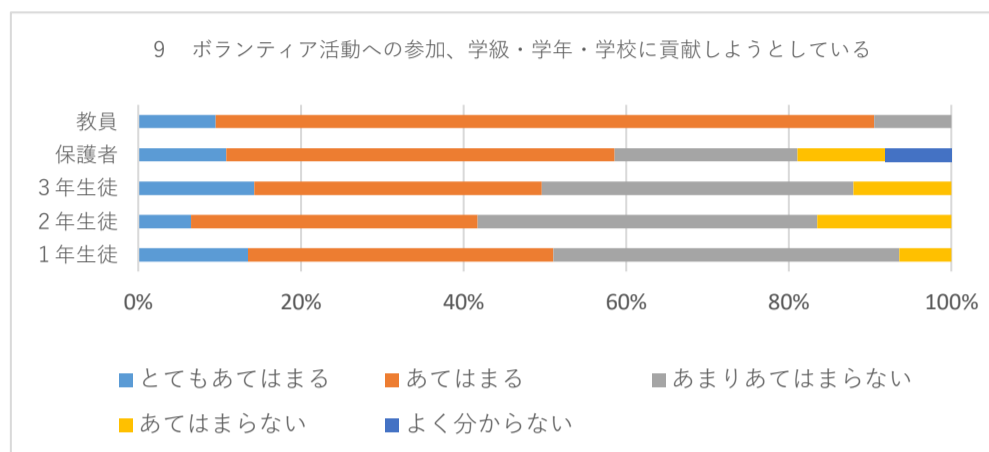


多くの生徒は、自分の果たす役割を意識して生活できています。どの活動でも必ずやらなければならないこと、できればやった方がよいこと、目標達成のための新規の企画立案などが考えられます。また、現在求められている力として、基礎基本を身に付けた後、自主的に創意工夫や応用を凝らし取り組む力があります。日々の活動を通して生徒とともに考える機会としていきたいと思っています。

質問番号 9 番

9 ボランティア活動に参加したり、学級・学年・学校に貢献したりしようとしている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	13.5%	37.6%	42.6%	6.4%	0.0%
2年生徒	6.5%	35.3%	41.8%	16.5%	0.0%
3年生徒	14.3%	35.3%	38.3%	12.0%	0.0%
保護者	10.8%	47.8%	22.5%	10.8%	8.1%
教員	9.5%	81.0%	9.5%	0.0%	0.0%

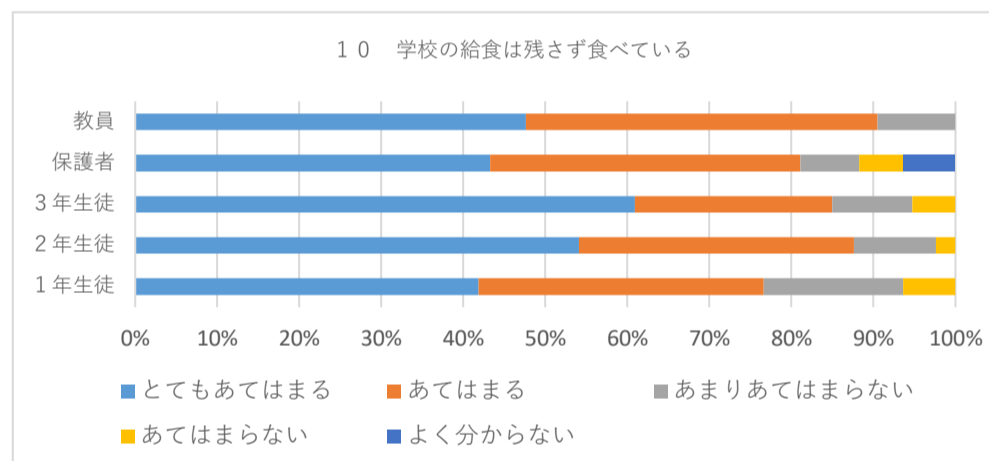


現在は、青少年育成大泉西地区委員会、西大泉連合町会、西大泉児童館など地域の皆様よりボランティアのお誘いがあり、学校では生徒会役員会が窓口になり、ボランティア希望者を募集しています。中学生が地域で活躍できる大切な機会ですので今後も継続してまいります。また毎月、練馬区ボランティア地域福祉推進センター発行の情報誌「ぼけっと」が各クラスに掲示され様々なボランティア活動を紹介しています。個人でもやってみようという生徒は一步を踏み出してみてください。

質問番号 10 番

10 学校の給食は残さず食べている

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	41.8%	34.8%	17.0%	6.4%	0.0%
2年生徒	54.1%	33.5%	10.0%	2.4%	0.0%
3年生徒	60.9%	24.1%	9.8%	5.3%	0.0%
保護者	43.2%	37.8%	7.2%	5.4%	6.3%
教員	47.6%	42.9%	9.5%	0.0%	0.0%

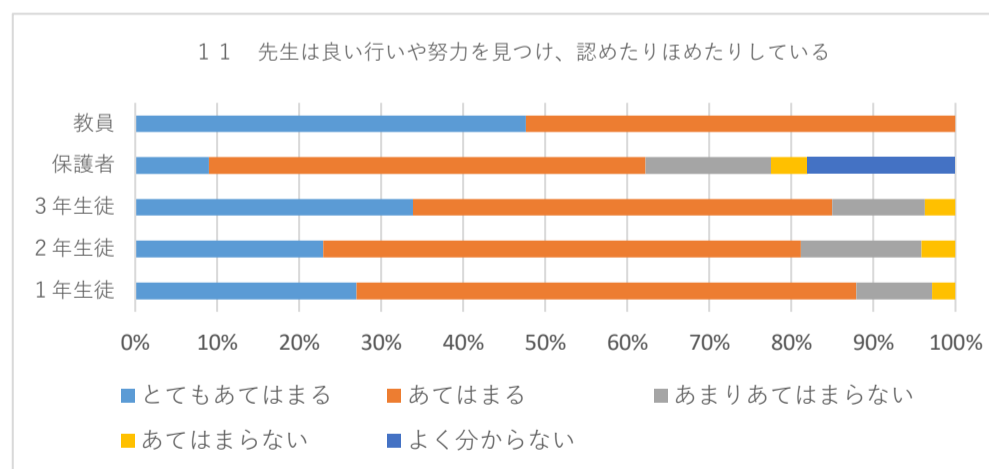


本校の給食は「おいしい」と評判です。栄養士の工夫で、JA東京あおば大泉アグリセンターから、地域でとれた新鮮な野菜を仕入れたメニューが多く提供されています。給食の提供に当たっては、食物アレルギーへの対応、調理過程での異物混入対策など、食の安全・衛生環境に配慮しています。また、食育推進の観点から、各国の代表的な料理や国内の各地方の郷土料理などメニューに工夫をすることで、生徒にも協力してもらいリクエストメニューや新メニューの考案にも取り組んでいます。

質問番号 11 番

11 先生は、生徒の良い行いや努力しているところを見つけ、認めたりほめたりしている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	27.0%	61.0%	9.2%	2.8%	0.0%
2年生徒	22.9%	58.2%	14.7%	4.1%	0.0%
3年生徒	33.8%	51.1%	11.3%	3.8%	0.0%
保護者	9.0%	53.2%	15.3%	4.5%	18.0%
教員	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	0.0%

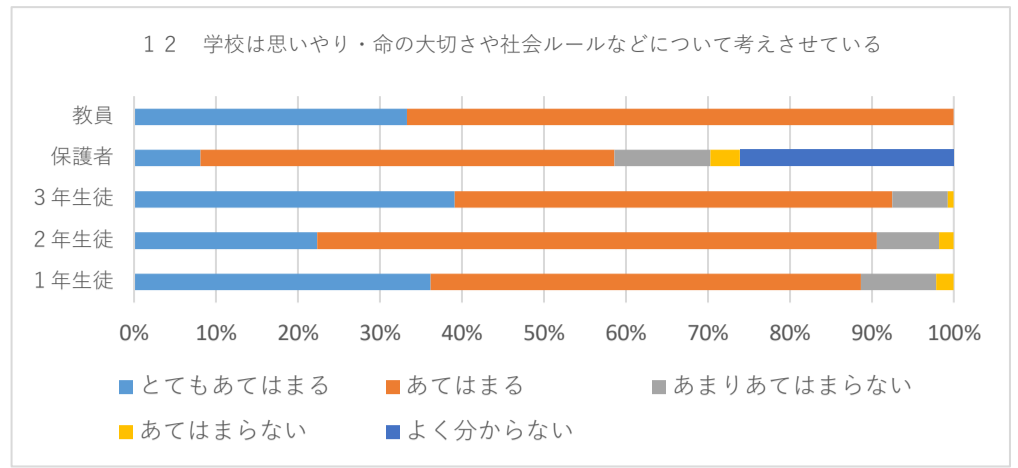


学校では、「主体性」や「やってみよう」という前向きな考えを大切にしています。生徒には、学校生活での様々な機会をとりえ積極的に挑戦し、その体験や結果を次に生かしてほしいと思っています。教員は、その取組の過程を見のがさず、生徒が自己肯定感を高めていけるように支援していければと考えています。そのため、生徒への適切な評価や声掛けを意識しています。日頃からの関係を大切にしていくことで、協働、信頼の関係を今後も築いてまいります。

質問番号 12 番

12 先生は、思いやり・命の大切さや社会のルールなどについて考えさせている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	36.2%	52.5%	9.2%	2.1%	0.0%
2年生徒	22.4%	68.2%	7.6%	1.8%	0.0%
3年生徒	39.1%	53.4%	6.8%	0.8%	0.0%
保護者	8.1%	50.5%	11.7%	3.6%	26.1%
教員	33.3%	66.8%	0.0%	0.0%	0.0%

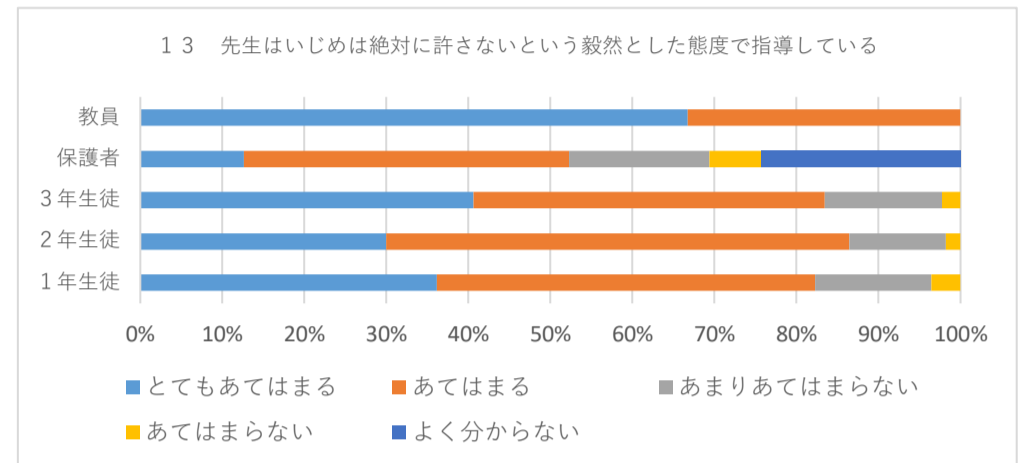


命の大切さとSOSの出し方の授業、学年教員のローテーションによる道徳授業などにより、「思いやり」「命の大切さ」「ルールの順守」などについて考えながら学習しています。また、ふれあい月間における生徒の意識調査、年2回の三者面談、スクールカウンセラーによる1年生全員面接、普段の生徒の様子から生徒理解を進めています。しかし、学校で見る様子と家での様子にギャップがあることもあり、生徒の心の健康のためには、保護者の皆様と学校が緊密に連携していくことが重要だと考えています。

質問番号 13 番

13 先生は、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導を行っている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	36.2%	46.1%	14.2%	3.5%	0.0%
2年生徒	30.0%	56.5%	11.8%	1.8%	0.0%
3年生徒	40.6%	42.9%	14.3%	2.3%	0.0%
保護者	12.6%	39.6%	17.1%	6.3%	24.3%
教員	66.8%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%

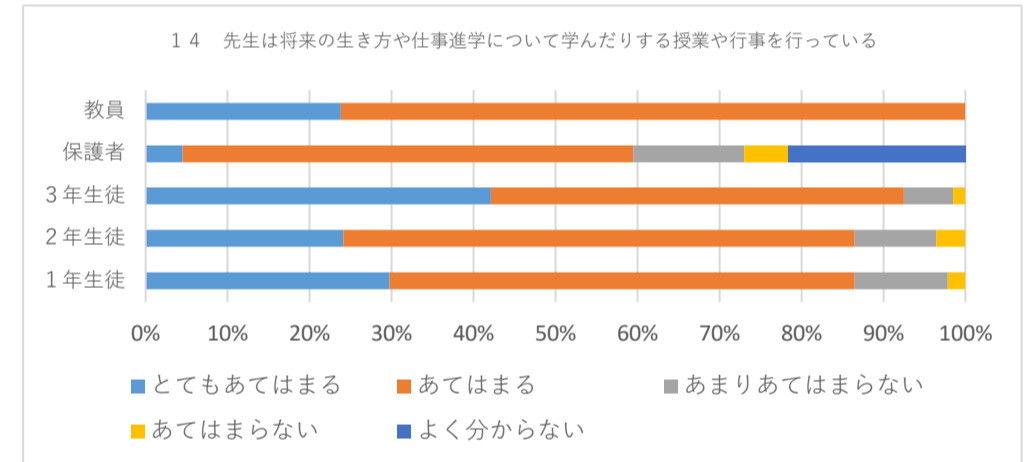


何気ない一言や行動が「心」の健康に影響することを生徒は知識として知っています。中学生期は人間関係を学ぶ大切な時期でもあります。このため、道徳授業や行事への取組、委員会活動・班活動などを意図的・計画的に行うとともに、教職員で情報共有を図っています。生徒に個人的に話をしたことなどは、必ず保護者連絡を心掛けています。連絡の目的は、情報を共有することで、保護者の皆様と学校が協働して生徒の成長に関わっていくためです。そしてともに課題解決に当たりたいと考えています。今後も保護者の皆様との連携を大切にまいります。

質問番号 14 番

14 先生は、将来の生き方や仕事、進学について学んだり考えたりする授業や行事を行っている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	29.8%	56.7%	11.3%	2.1%	0.0%
2年生徒	24.1%	62.4%	10.0%	3.5%	0.0%
3年生徒	42.1%	50.4%	6.0%	1.5%	0.0%
保護者	4.5%	55.0%	13.5%	5.4%	21.6%
教員	23.8%	76.1%	0.0%	0.0%	0.0%

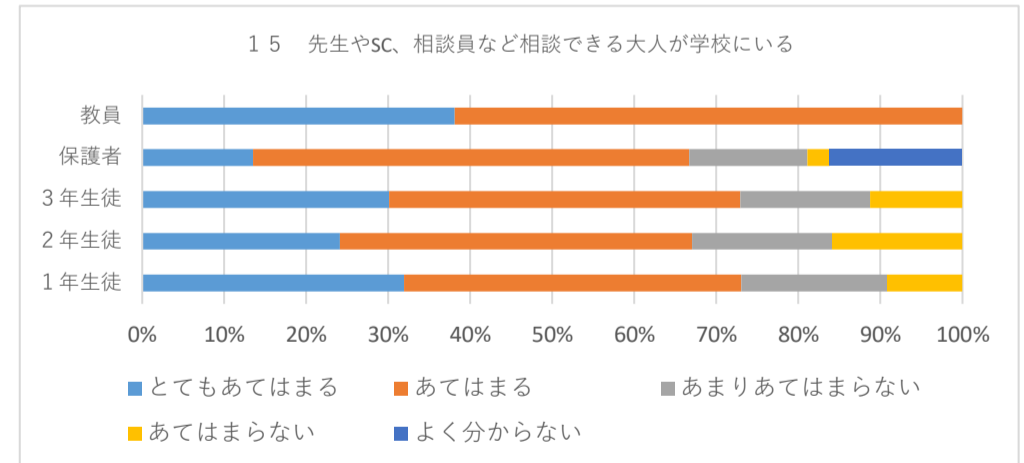


キャリア教育は、小学校から引き継いでいるキャリアパスポートを活用し、その上に中学校3年間で身に付けてほしい事柄を、総合的な学習の時間や特別活動と関連させ学んでいきます。その際、1年生で学んだことを土台に2年生の内容が積み上がり、3年生での自己実現に向けての具体的な取組につながるように計画されています。進学指導では進学先で何をやるかという視点で考えていくことを大切にしています。

質問番号 15 番

15 先生やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員など、相談できる大人が学校にいる。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	31.9%	41.1%	17.7%	9.2%	0.0%
2年生徒	24.1%	42.9%	17.1%	15.9%	0.0%
3年生徒	30.1%	42.9%	15.8%	11.3%	0.0%
保護者	13.5%	53.2%	14.4%	2.7%	16.2%
教員	38.1%	61.9%	0.0%	0.0%	0.0%

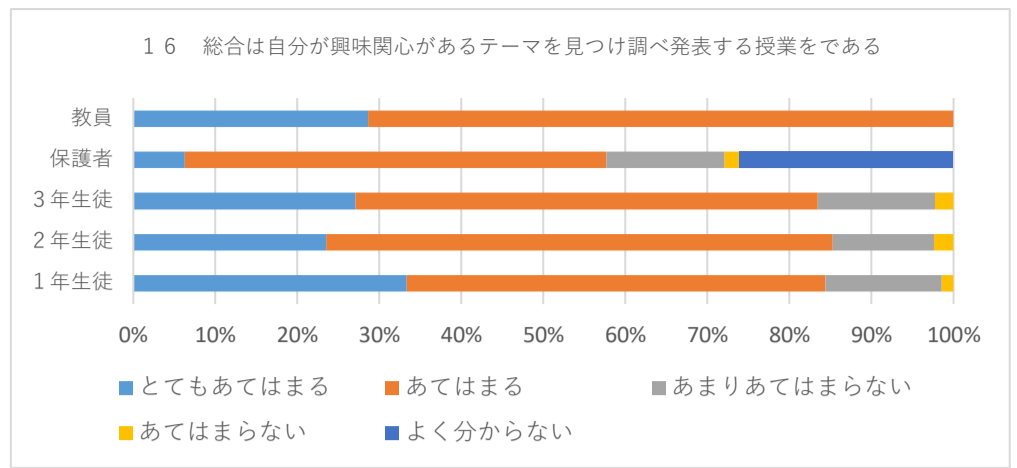


何か引っかかることがあった時、それまでの自分の経験を駆使して解決することもできると思います。しかし、対応や思考の幅を広げ総合的な力を向上させていくために人の考えを聞くことは有効です。相談があれば一緒に考え、より良い解決策を探していきます。また、学校以外にも相談できる場所は多くあります。悩みを一人で抱えて心が疲れてしまわないようにしてください。

質問番号 16 番

16 総合的な学習の時間では、自分が興味関心のあるテーマを見つけたり、それについて調べ・発表したりする授業を行っている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	33.3%	51.1%	14.2%	1.4%	0.0%
2年生徒	23.5%	61.8%	12.4%	2.4%	0.0%
3年生徒	27.1%	56.4%	14.3%	2.3%	0.0%
保護者	6.3%	51.4%	14.4%	1.8%	26.1%
教員	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%

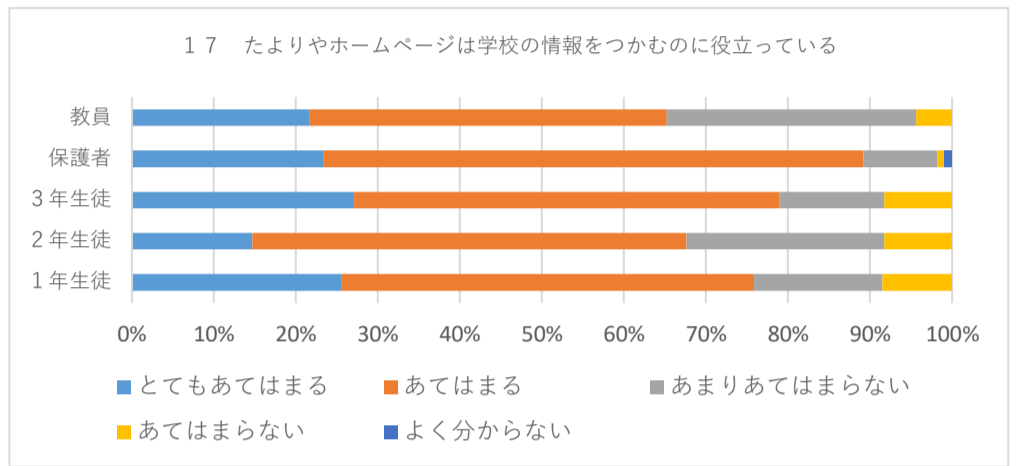


総合的な学習の時間では、基本的な調べ方、まとめ方、表現の仕方などの学習をしながら、大きなテーマから自分なりの小テーマを見つけていくなど自主的に考え工夫していくこと、また、班などで役割分担をして協力・協働しながら目的を達成する体験をしていきます。その過程において、生徒は貸与されているタブレット端末で、プレゼンテーション・画像・映像・生成AIなどのソフトを使って取り組み、情報リテラシーや安全な使い方なども学習していきます。

質問番号 17 番

17 おたよりやホームページは、学校の情報をつかむのに役立つ。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	25.5%	50.4%	15.6%	8.5%	0.0%
2年生徒	14.7%	52.9%	24.1%	8.2%	0.0%
3年生徒	27.1%	51.9%	12.8%	8.3%	0.0%
保護者	23.4%	65.8%	9.0%	0.9%	0.9%
教員	21.7%	43.5%	30.4%	4.4%	0.0%

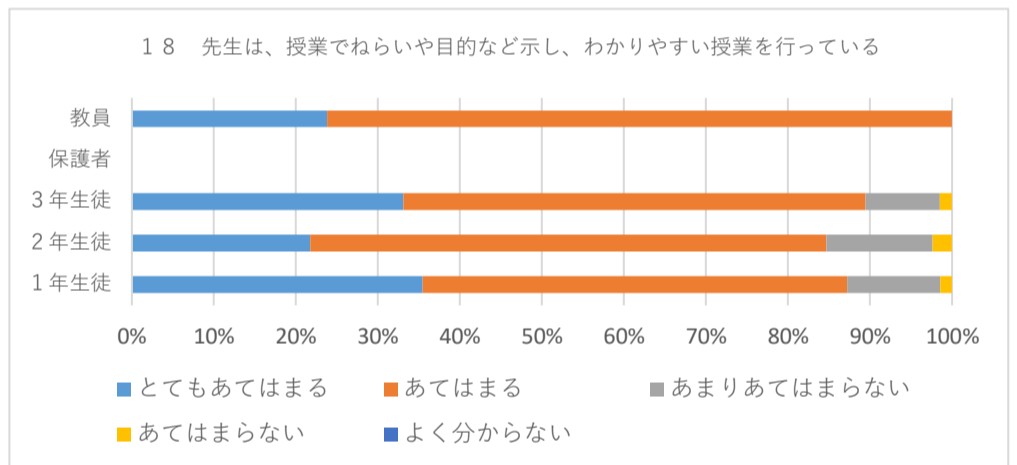


本校では、学校だより、学年だより、学級だより等を中心に、保健だより、給食だより、また、生徒が作成する生徒会だよりなど、学校の取組や生徒の活動の様子を発信しています。また、学校ホームページでは、基本的に毎日の記事更新や行事等では特集ページの作成など、学校生活の様子を配信しています。個人情報に配慮しながらもできるだけ多くを情報発信することにより、生徒の活躍の様子をご理解いただければと思っています。来年度も個人情報には十分に留意をしながら、この取組を継続・発展させ、生徒・保護者の満足が高まるよう取り組んでいきます。

質問番号 18 番

18 先生は、授業でねらいや目的などを示し、わかりやすい授業を行っている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	35.5%	51.8%	11.3%	1.4%	0.0%
2年生徒	21.8%	62.9%	12.9%	2.4%	0.0%
3年生徒	33.1%	56.4%	9.0%	1.5%	0.0%
保護者					
教員	23.8%	76.1%	0.0%	0.0%	0.0%

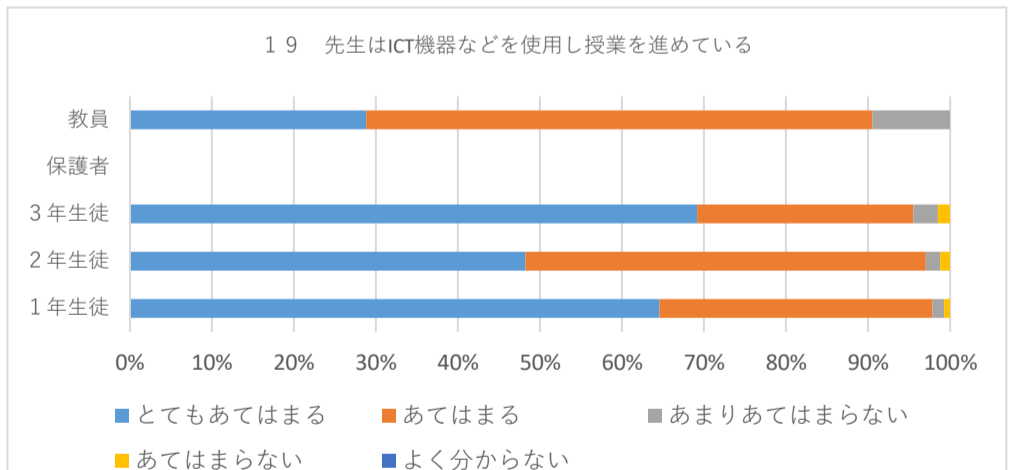


学習指導要領では、見通しをもって学ぶこと、何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるかを理解して学習を進めることが求められています。そのため、各教科の単元や授業1時間ごとにねらいがあります。生徒はそのねらい(目標)を理解し見通しをもって学ぶことで、学習内容の理解が進み定着が図られていきます。教員は担当教科の専門性を生かし、授業で面白さ楽しさを伝えようと工夫をしています。

質問番号 19 番

19 先生は、電子黒板や実物投影機などを使用し、授業を進めている。

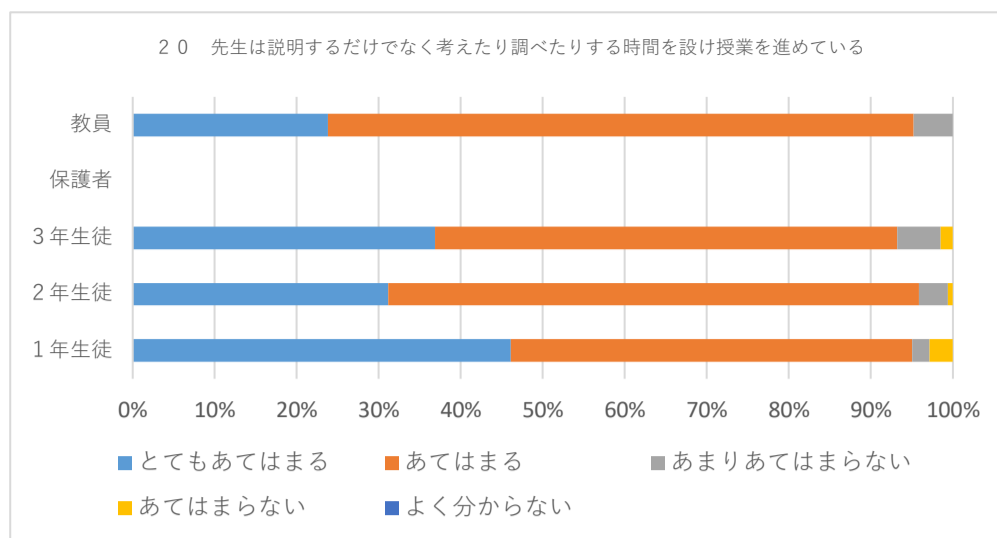
	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	64.5%	33.3%	1.4%	0.7%	0.0%
2年生徒	48.2%	48.8%	1.8%	1.2%	0.0%
3年生徒	69.2%	26.3%	3.0%	1.5%	0.0%
保護者					
教員	28.9%	61.9%	9.5%	0.0%	0.0%



ここ数年でICT (Information and Communication Technology) 機器の充実が進んでいます。各教員も研修会へ参加したり、先行研究を調べたりして、そのより良い活用方法を検討しています。映像と板書(黒板に書く文字)、タブレットへの入力とノートやプリントへの記入など、デジタルとアナログのメリットデメリットを考え、今後も本校生徒の実力につながる方法の検討を続けていきます。

20 先生は授業で説明するだけでなく、考えたり調べたりする時間など色々な形で授業を進めている。

	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	よく分からない
1年生徒	46.1%	48.9%	2.1%	2.8%	0.0%
2年生徒	31.2%	64.7%	3.5%	0.6%	0.0%
3年生徒	36.8%	56.4%	5.3%	1.5%	0.0%
保護者					
教員	23.8%	71.4%	4.8%	0.0%	0.0%



基本的な知識や技能の習得では、覚えなければならない内容もありますが、ペアワークや話し合い活動で事実を見つけたり、実証したりすることでより学習効果が上がります。また、他者の意見や考えにより、一人では気付かなかったことに気付くなど多角的な視野の獲得につながります。そのために、授業では意図的、計画的に、調べたり、考えたり、話し合ったりする機会を設定しています。

○ 学校運営について、ご意見としていただいた事柄について

(1) 合唱コンクール保護者席について

練馬文化センターの改修工事も終わり、今年度新たに合唱コンクールを企画しました。そのため、保護者の参加者数が読めずに学年ごとの入れ替え制をお願いしましたが、会場の様子から特に制限をしなくとも可能との見通しを持つことができました。次年度以降は、保護者席前列は発表学年の保護者優先にするなど、保護者の皆様にご協力・ご配慮・共通理解をいただき、学年ごとに入れ替える形の制限をなくしていこうと考えています。

(2) 相談室の利用について

スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、相談室の利用へのイメージは、まだまだ生徒にも保護者にも、特別という認識があるようです。学校では相談室がもっと気軽に使える場所であってほしいと思っています。相談室は個別の相談をしているとき以外は全生徒に開放されています。生徒のみなさんは個人でも友達とでも一回入ってみてください。

(3) 学校からの情報発信について

本年度、学校ホームページ、sigfy、各種お便りで学校からの情報の発信を心掛け、多くの皆様から良い評価をいただきました。しかし、情報発信時期をもっと早くしてほしい、予定表などもっとわかりやすい表記を心掛けてほしいなど、改善に向けてのご意見をいただきました。できるところから改善を進めてまいります。

(4) 生活指導について

① 授業規律

現在、本校の1クラス当たりの生徒数は30名～40名となっています。多様な価値観は大切にしていますが、授業においては約束(規律)が必要です。この約束事を共通理解し、実践する態度を全生徒に大切にしてもらいたいと考え指導・支援をしています。また、保護者の皆様にも、学校の様子や大切にしていることなどお知らせしてまいりますので、今後もお気づきの点がございましたら遠慮なくお知らせください。

② 人間関係

コロナ禍の3～4年間では、マスクでの生活、学校行事の縮小など複数人での協働活動の場面が制限されました。そのため、これまでは徐々に他者との関係を築く経験を積み重ねてきましたが、その経験が少ないうえ人間関係の輪が一気に大きくなったことにより、生徒は多様性や自分と違う価値観を受け止められず、対応に苦慮している様子が見られます。また、急激なスマートフォンの発達、情報リテラシーの理解が不十分なままのSNS利用などもあり、その結果が他者との人間関係において良くない形として表れてしまい、学校でもその都度、関係者だけにとどまらず指導を繰り返してきました。生徒たちがよりよく成長するために学校では、道徳の授業や体験活動を大切に、安全・安心について、意図的・計画的な取り組みを継続してまいります。保護者の皆様にもご理解・ご協力をお願いいたします。

③ 家庭と学校の協力

生徒により個人差はありますが、思春期や社会(行動範囲や人間関係)の広がりなどにより、3年間の中学校生活で心も体も急激に変化します。この大事な3年間に有効に使い、生徒の成長に関わっていくためには、保護者(家庭)の皆様と学校がそれぞれの役割や関わり方を相互理解していくことが重要となります。気が付いたことがあれば双方向で連絡し、困ったことがあれば相談しながら取り組んでいきたいと思っております。保護者の視点・学校の視点それぞれの関わりが生徒にとってプラスとなるように、今後ともご理解・ご協力・ご支援をお願いいたします。

○ 学校関係者評価委員会より

・アンケート結果からは、概ね肯定的な評価がされています。
 ・保護者から伝わる話を気にしながら実際に学校へ行き様子を見てみると、どの学年も落ち着いて授業を受けられており、自分の目で見て判断することが大切だと感じました。
 ・生徒、保護者共に学校生活に不安を抱いている方には、引き続きいねいな個別対応をお願いします。また、誰もが安全で安心して通うことのできる学校を目指し、大切にすることを学校生活全般を通して生徒に意識させる指導を継続してください。そして、その実現のために学校・保護者が一体になってレベルアップを図ってほしいと考えます。
 ・これからの社会で必要とされている力は、自ら考えること、自分で判断できることだと感じています。そのためには学び続け、知識や情報を得ていく必要があります。そのような考えの基礎を、経験を通して身に付けるのが中学校時代だと思います。そして、学校は社会のニーズも考え社会性を身に付けさせるのが、大きな役割だと考えています。同時に私たち生徒に関わる大人も、情報を集め、学び続け、協力して取り組むことが必要だと思っています。